

氏名	新垣有正		
学位の種類	医学博士		
学位授与番号	乙第1836号		
学位授与の日付	昭和62年9月30日		
学位授与の要件	博士の学位論文提出者（学位規則第5条第2項該当）		
学位論文題目	SV40変換ヒト細胞表面T抗原の光顕および電顕酵素抗体法による 検出とその存在様式		
論文審査委員	教授 矢部芳郎	教授 赤木忠厚	教授 佐藤二郎

### 学位論文内容の要旨

SV40変換ヒト胎児脳由来細胞（SV40-HFB細胞）の表面T抗原を光顕および電顕酵素抗体間接法により検出し、その存在様式について検討した。抗T血清にはSV40誘発担癌ハムスター血清を用いた。抗T血清のT抗原に対する特異性は、SV40-HFB細胞全分画抽出液のウエスタン・ブロッティング法による解析で確認された。光顕的には、アセトン固定単層細胞では核内T抗原が検出され、表面T抗原は検出されなかった。4%パラホルムアルデヒド固定の単層細胞および浮遊細胞では陽性反応が細胞表面に沿って観察され、核内は陰性であった。しかし未固定の単層細胞および浮遊細胞では細胞表面に陽性反応は観察されなかった。対照試験では細胞表面は陰性であった。電顕的には、表面T抗原は細胞膜に一致して全周性に観察され、陽性対照表面抗原としてのHLA-ABC抗原と同様の分布所見を示した。表面T抗原は未固定の細胞では検出されにくく cryptic form に存在することが考えられる。この現象は in vivo でのSV40誘発腫瘍細胞の免疫学的逃避にも関与することが推測される。

### 論文審査の結果の要旨

本研究は、SV40変換ヒト細胞の表面T抗原の存在様式を光顕および電顕酵素抗体法により検討し、それが未固定のもの及びアセトン固定のものでは検出されないが、パラホルムアルデヒド固定のものでは検出されることを観察し、又これらの結果より表面T抗原が生細胞では外に露出されないで存在することを推定したもので、医学博士の学位に値するものと認める。